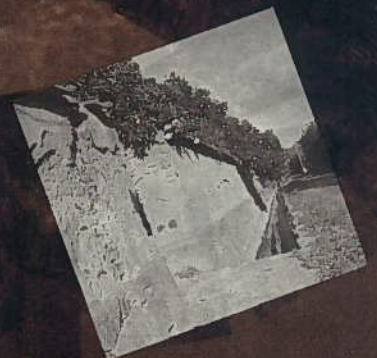


萩博物館企画展

～タイムスリップ～

城下町萩のひみつ



2009.11.28 **土** → 2010.1.28 **木** 萩博物館

～タイムスリップ～ 城下町萩のひみつ

城下町・萩では、江戸時代の城下町絵図を、現在も地図として用いることができます。それは、江戸時代に形作られた「まち」が、壊されることなく継承されているということを意味します。

今回の展示では、「低湿地」、「鉄道」、「夏みかん」、「災い」をキーワードに、変わらない「まち」のひみつを追い、今に息づく城下町を再発見します。



1850年代の城下町絵図（個人蔵）



部分拡大図（藩校明倫館付近）

江戸時代の城下町絵図

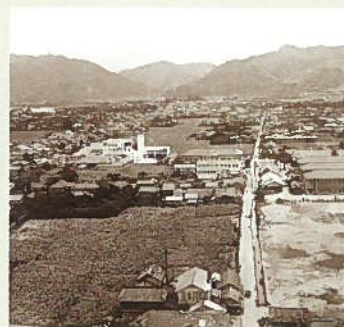
新堀川、大溝（藍場川）の開削などで治水が安定し、城下町は次第に拡大し整備されました。1849年、三角州中央の低湿地を造成して、大規模な藩校「明倫館」が建設されました。



1960年代の 萩三角州航空写真

明治時代以降、三角州中央辺りの水田やハス田が広がっている一帯に、市役所や学校、国道などが建設されました。昔からの「まち」を壊さない近代化が進められました。

「萩三角州航空写真」
（角川政治氏撮影）



会 期：平成21年11月28日(土)～平成22年1月28日(木) 開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観 覧 料：大人 500円 / 高校・大学生 300円 / 小・中学生 100円 [団体割引] 20名以上 20% [障害者割引] 20%
駐 車 場：有料 普通車 66台 (1回300円) バス 8台 (1回1,000円) ※萩市民は無料

◎JR 東萩駅よりタクシー 10分 ◎JR 新山口駅よりバス 70分 (萩バスセンター下車、徒歩 25分)
◎萩・石見空港よりバス 75分 (萩バスセンター下車、徒歩 25分) ◎萩バスセンターよりまあるバス西回り10分「萩博物館前」下車すぐ
◎中国自動車道小郡IC、美祿ICより50分 ◎山陽自動車道防府東ICより60分

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市城内 355番地
TEL 0838-25-6447 / FAX 0838-25-3142
URL <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>



夏みかん出荷の際に貼ったラベル

1876年、禄を失った武士の救済のために、広い武家屋敷地で夏みかんの経済栽培が始められました。夏みかんは長く萩の経済を支え、その結果として、武家屋敷地の屋敷地割などが良く伝えられることになりました。



鉄道が開通した際に 出版されたパンフレット

1925年、念願の鉄道は、三角州の外側を迂回する形で敷設されました。三角州内の町人地や武家屋敷地は、大規模な開発をまねかれました。

「萩を中心とする付近名所図覧」